

新入生のみなさんへ

ご入学おめでとうございます。みなさんはどんな夢を抱いて千葉大学へ入学されましたか。優秀な成績を修めること、将来に向けて資格を取ることに、研究をすること、部活やサークルに取り組むこと、キャンパスライフを満喫すること、人それぞれでしょう。

ですが、みなさんには夢と一緒に考えていただきたい現実があります。今、日本では急速に少子高齢化が進んでいることはご存じかと思います。ニュースでも財政、社会保障、医療・介護、コミュニティの維持など様々な問題が扱われていますが、こんなことを思ったことはありませんか。

「日本の将来は、本当に大丈夫なのか？」

結論から言うと、このまま何も手を打たなければ、日本社会は衰退の一途をたどることでしょう。特に東京のベッドタウンである千葉県は、これから高齢者が急速に増えていきます。皆さんが千葉大学を卒業し、社会の中心的役割を担うであろう22年後の2035年に、千葉県の高齢化率は34.2%まで上昇します。これは、3人で2人のお年寄りを支える計算です。そして、さらに特徴的なのは、首都圏での高齢者人口とその居住密度が、人類が未だ経験したことのない突出した値になることです。このような社会を支えるのは、紛れもなく皆さんです。あまりイメージは湧かないかもしれませんが、その時代は確実に近づいてきています。

千葉大学では、今現在も進行している高齢化問題に対し、全学的に対策を検討しています。高齢化そのものを食い止めることは不可能ですが、皆さんや皆さんのご家族が安心して暮らしていける社会を目指し、各学部が異なる視点から多面的に研究を進めています。今日ご紹介するシンポジウムは、その全てではありませんが、各学部の取り組みを一度に見ることができる貴重な機会です。

話は少し難しいですし、すぐには理解できないかもしれませんが、ですが、“つねに、より高きものを目指す”千葉大生として、積極的に参加してみてください。学生生活を通じて取り組むべき課題のひとつが見えてくることを期待しています。

学長企画戦略室

医学部附属病院高齢社会医療政策研究部

第2回高齢社会を考えるシンポジウム 「千葉大学と超高齢社会」

日 時 平成25年4月9日（火）16:15～19:00（15:45開場）
場 所 千葉大学西千葉キャンパスけやき会館大ホール
入場定員 300名（当日先着順 参加費無料）

プログラム

開 会 16:15-16:30

主催者あいさつ 齋藤 康（千葉大学長）
来賓あいさつ 文部科学省

第1部（招待講演） 厚生労働省老健局 16:30-16:50
→ 行政の立場から高齢社会の問題点を解説していただきます。

第2部（研究発表）「超高齢社会の医療状況」 16:50-17:20
→ 附属病院の研究員が、医療の面から高齢社会の問題点を解説します。

休憩 17:20-17:30

第3部（パネルディスカッション）「あかるい超高齢社会」 17:30-19:00
→ 人文社会科学部研究科、医学部研究科、看護学研究科、工学部建築学科の各教員が、それぞれ先端研究や事例を紹介します。発表の後には、討論で先生方の生の声を聞くことができます。

閉 会 19:00

当日参加できなかった方も、資料をダウンロードすることができます！

詳しくはホームページまで

千葉大学 高齢社会

検索